森岡地区拠点施設基本構想【概要版】

Ⅰ 背景・目的等

東浦町公共施設再配置計画に基づき、森岡地区を地区拠点形成のモデル事業として位置づけ、地区施設の複合化・集約化により、多世代交流や多機能化による利便性向上や合理性・効率性の最大化、コスト縮減等を図る。

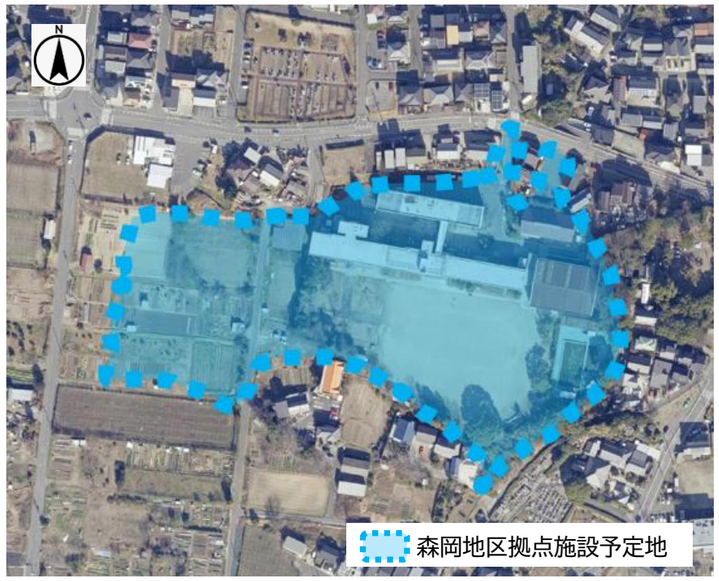
森岡地区拠点施設基本構想では、コンセプト、施設の基本的な考え方、導入機能などについて検討する。

Ⅱ 現状把握

Ⅱ-1.森岡地区拠点施設に係る複合対象施設概要

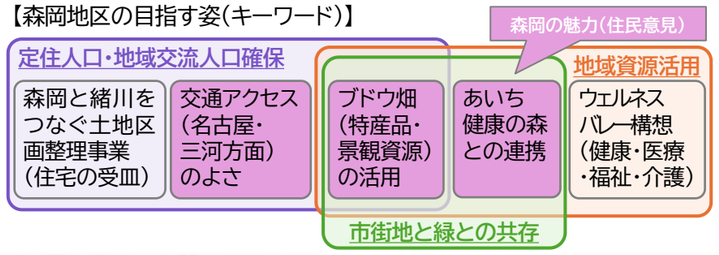
施設名	建築年	延床面積（㎡）
森岡分団詰所	1981	99.94
森岡保育園	1971	617.49
森岡西保育園	1975	1,337.30
森岡児童館	1997	329.02

施設名	建築年	延床面積（㎡）
森岡コミュニティセンター	1980	788.07
森岡老人憩の家	1987	171.69
北部ふれあいセンター	1994	721.38
森岡小学校	1963	6,837.50



Ⅱ-2.森岡地区の目指す姿と森岡地区における拠点施設の位置づけ

【森岡地区の目指す姿（キーワード）】



【森岡地区拠点施設の位置づけ】

立地の良さに加え、地域資源を活かし、学びだけでなく、ブドウや健康・福祉の視点も含めた魅力的な拠点形成が必要

⇒まちの付加価値を高める拠点を形成することで、森岡地区への「住みたい、住み続けたい、学びたい、働きたい」に貢献し、まちの魅力向上、愛着醸成に繋がる。

Ⅲ 複合拠点整備に係る課題及び必要性

①学び　新しい時代の学びに向けた拠点形成・地域住民の学びの場
- 複合化を活かした新しい学びにふさわしい教育環境・多様な教育への対応
- 森岡らしい魅力のある学びの拠点・地域住民の生涯学習としての学びの場

②交流　コミュニティ拠点・地域住民の居場所づくり
- 多様な地域住民みんなの交流や地域住民活動の活性化
- 歴史や自然等の様々な資源を活かした特色ある拠点
- 気軽に訪れ、居場所となり、シビックプライドの醸成に寄与する拠点

③安全・安心　利用者の安全確保・防災拠点としての施設整備
- 児童や園児をはじめとした利用者が安全・安心に過ごせる拠点
- 近年の激甚災害にも耐えうる防災拠点
- 森岡地区の安全なまちづくりに寄与する拠点形成

④適正規模　将来を見据えた持続可能な適正規模の施設整備
- 中長期を見据え必要なサービスは確保しながら適正規模の施設
- 柔軟性や可変性のある拠点・SDGsや脱炭素化等を踏まえた拠点
- ファシリティマネジメントの観点を踏まえた持続可能な拠点

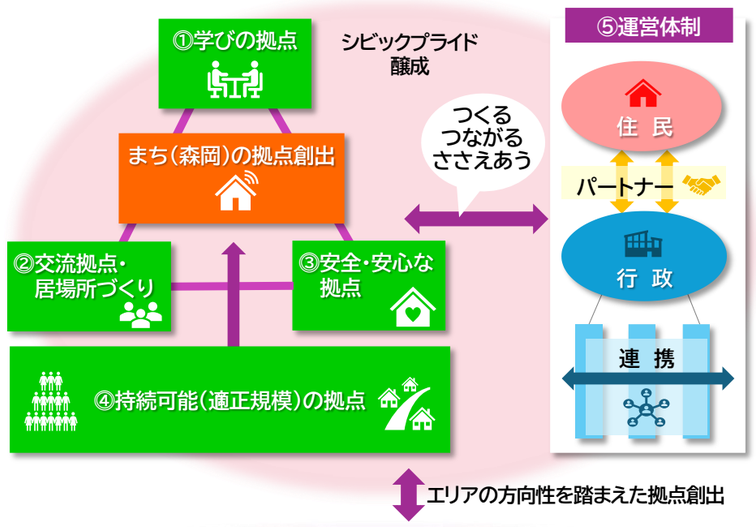
⑤維持管理　管理運営体制の検討、関係主体の意見反映の場
- 施設を一元管理できる体制の検討
- 地域ぐるみで皆が自分事、みんな事として協働運営する環境の土台を形成し、「つくる つながる ささえあう」を実現

Ⅳ 複合拠点施設の目指す姿

Ⅳ-1.基本理念

「つくる・つながる・ささえあう」を実現する
世代を超えて幸せと絆もりもりの拠点創出

Ⅳ-2.コンセプト



森岡地区の目指す姿
立地の良さに加え、地域資源を活かし、
学びだけでなく、ブドウや健康・福祉の視点も含めた魅力的な拠点形成

Ⅳ-3.基本方針及び整備方針

上段：基本方針
下段：整備方針

①学びの拠点

児童・園児の学びをはじめ、地域住民の「学びの拠点」を形成する。

●新しい時代の学びを実現　●地域に開かれた特色ある学校づくりの実現
●個性化教育の推進　●地域住民への学習機会の提供

②交流（コミュニティ）拠点・居場所づくり

多様な方が居場所として利用でき、繋がることのできる「交流の拠点」を形成する。

交流	●自然に多様な交流を生み出す ●様々な活動による団体同士の連携等を促進 ●地域に開かれたデザイン ●あいち健康の森やウェルネスバレー構想との連携・役割分担
居場所づくり	●多様な方の居場所となるための多様な空間 ●「まちの保健室」としての活動ができる空間

③安全・安心な拠点（防災拠点）

防犯性・防災性を持った「安全・安心な拠点」を形成する。

防犯性	●セキュリティラインの確保　●視認性（人の目・地域の目）の確保 ●物理的・心理的に重層的な領域性を確保
防災性	●フェーズフリーへの対応　●被災時の電力確保、給水機能維持 ●避難所・避難場所の確保、教育活動等の早期再開 ●自主防災会、消防団との連携、交流による啓発・防災教育 ●立地、避難経路を踏まえた配置・動線計画　●耐震安全性の確保

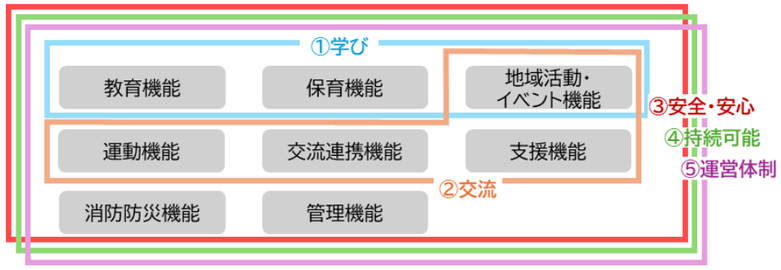
④持続可能（適正規模）な拠点

ファシリティマネジメントの観点を踏まえ、「ちょうどいい」持続可能な拠点を形成する。

将来世代へ負担を残さない施設計画	●人口減少・将来需要を踏まえた施設規模の設定 ●空間の共用化・多目的化を図った規模の適正化 ●柔軟性・可変性のある空間　●ライフサイクルコストの縮減 ●官民連携の導入検討
ニーズ（社会的要求事項）に対する検討	●ICT化・DX化による行政運営の質の向上 ●ユニバーサルデザイン/インクルーシブデザインへの対応 ●木材利用やZEB化推進　●施設自体を環境教育等に活用

⑤運営体制（管理運営計画）

複合拠点施設の効果的な運用に向け、計画段階から運営体制の構築を検討する。

●機能間の連携、効率化等を踏まえた体制検討

Ⅴ 導入機能等